

# 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 16 日

上場会社名 常磐興産株式会社

(コード番号: 9 6 7 5 東証第一部)

(URL <http://www.joban-kosan.com/>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長 齋藤 一彦  
 問合せ先責任者 役 職 名 取締役管理本部長 秋田 龍生 TEL(03)3663-3415

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 法人税等の計上基準及びその他一部については、簡便な方法を採用しております。
- ②最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結 (新規) 一社 (除外) 4 社  
 持分法 (新規) 一社 (除外) 3 社

## 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概要 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

### (1) 経営成績の進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	32,903	△4.9	1,512	—	693	—
平成17年3月期第3四半期	34,598	7.9	—	—	—	—
(参考) 平成 17 年 3 月期	46,112		2,282		1,273	

	四半期(当期) 純 利 益		1 株 当 たり 四 半 期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 四半期(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
平成18年3月期第3四半期	2,475	—	34. 66	—
平成17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 平成 17 年 3 月期	226		3. 19	—

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高以外の項目につきましては、当第 3 四半期より開示を行なっているため、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### [経営成績（連結）の進捗に関する定性的情報等]

当第 3 四半期までの我が国経済は、企業業績の改善を背景に設備投資は増加し、雇用環境・個人消費に明るさが見られる等緩やかながらも回復基調で推移いたしました。

- ①観光事業は、主力のスパリゾートハワイアンズにおいて首都圏をターゲットとしてテレビCMの放映や営業提携店舗の拡大を図るとともに、開業 40 周年記念イベントの開催や市内観光周遊バスの運行を始め様々な商品提供等により堅調に推移いたしました。またクレストヒルズゴルフ倶楽部におきましても一泊 2 プレーのゴルフパックが好評を得て順調に拡大する等、当部門全体としては好調に推移いたしました。

この結果利用人員は、ハワイアンズ（日帰り）が、1,198千人（前年同期比47千人、4.1%増）、ホテルハワイアンズ（宿泊）が、283千人（前年同期比11千人、4.0%増）、クレストヒルズゴルフ倶楽部が41千人（前年同期比7千人、20.8%増）、山海館が8千人（前年同期比0.2千人、2.4%減）となり、売上高は9,636百万円となりました。

- ②卸売業は、燃料商事事業部におきまして、石油の電力向け販売数量は増加しましたものの、石炭の競争入札機会の縮小等により販売数量が減少し、売上高は減少いたしました。不動産事業につきましては、販売用不動産売却が減少したこと、首都圏の一部ビル売却に伴い賃料収入が減少したこと等により、売上高は減少いたしました。
- ③製造関連事業は、包装部材製造部門において引続き包装関連資材が好調に推移したものの、仕入販売商品の絞込み等により売上高は減少し、また鉄鋼機械部門につきましては産業機械関連が好調でありましたものの、公共事業関連の減少等により減収となり、当事業全体として売上高は減少いたしました。
- ④建設・土木業を始めとするその他の事業につきましては、引続き公共事業が抑制され依然厳しい環境にある一方、民間設備投資は好調に推移いたしました。

この結果、当社グループの売上高は、329億3百万円、営業利益は15億12百万円、経常利益は6億93百万円、当期純利益につきましては資産売却に伴い特別利益を計上したことにより24億75百万円となりました。

なお、昨年11月25日に開示いたしましたとおり、一連の賃貸ビル売却を第4四半期にかけて実行し特別損益を計上いたしますが、同日併せて開示しました会社分割の影響等により、土地再評価に係る繰延税金資産・負債を取り崩し、法人税等調整額を計上する予定でありますので、通期業績では大幅な当期純損失となる見込であります。

（参考として昨年11月25日付発表の業績予想は下表のとおりであります。）

平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	48,400	1,100	△ 1,500

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成18年3月期第3四半期	75,496	17,682	23.4	245.33
平成17年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考) 平成17年3月期	73,809	14,347	19.4	201.22

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

第4四半期業績は、観光事業及び建設・土木業において厳しい環境下に推移しており、現在内容を精査中で明らかになり次第業績予想の修正を開示する予定であります。

以上

(添付資料)

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)		(参考) (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
<u>資 産 の 部</u>		%		%
I 流 動 資 産	14,369	19.0	10,720	14.5
現金及び預金	5,705		3,686	
受取手形及び売掛金	4,377		4,907	
有 価 証 券	35		34	
た な 卸 資 産	2,220		1,535	
そ の 他	2,069		609	
貸 倒 引 当 金	△ 38		△ 53	
II 固 定 資 産	61,100	81.0	63,059	85.4
(1) 有 形 固 定 資 産	49,877	66.1	55,114	74.6
建物及び構築物	19,642		21,350	
機械装置及び運搬具	1,329		1,381	
工具、器具及び備品	383		393	
土 地	28,495		31,988	
建設仮勘定	26		—	
(2) 無 形 固 定 資 産	134	0.2	142	0.2
そ の 他	134		142	
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	11,089	14.7	7,802	10.6
投 資 有 価 証 券	9,649		6,331	
長 期 貸 付 金	1,094		136	
そ の 他	1,450		1,463	
貸 倒 引 当 金	△ 1,105		△ 129	
III 繰 延 資 産	26	0.0	30	0.1
社 債 発 行 費	26		30	
資 産 合 計	75,496	100.0	73,809	100.0

(単位：百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当第3四半期 (平成17年12月31日現在)		(参考) (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
<u>負 債 の 部</u>		%		%
I 流 動 負 債	35,029	46.4	30,913	41.9
支払手形及び買掛金	3,082		3,278	
短期借入金	21,888		21,983	
一年以内償還社債	1,046		906	
未払金	1,310		1,774	
未払法人税等	2,520		115	
賞与引当金	210		444	
その他	4,972		2,411	
II 固 定 負 債	22,585	29.9	28,398	38.5
社 債	1,528		1,621	
長期借入金	15,708		22,201	
預り保証金	2,068		2,377	
連結調整勘定	15		18	
繰延税金負債	2,774		1,475	
再評価に係る繰延税金負債	—		187	
退職給付引当金	188		212	
役員退職慰労引当金	260		248	
その他	43		57	
負 債 合 計	57,615	76.3	59,312	80.4
<u>少 数 株 主 持 分</u>	198	0.3	149	0.2
<u>資 本 の 部</u>				
I 資 本 金	10,221	13.5	10,221	13.8
II 資 本 剰 余 金	1,764	2.4	1,764	2.4
III 利 益 剰 余 金	4,707	6.2	530	0.7
IV 土 地 再 評 価 差 額 金	△ 2,538	△3.4	274	0.4
V その他有価証券評価差額金	3,589	4.8	1,718	2.3
VI 自 己 株 式	△ 61	△0.1	△ 160	△0.2
資 本 合 計	17,682	23.4	14,347	19.4
負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	75,496	100.0	73,809	100.0

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨表示)

科 目	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(参考) (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
I 売上高	32,903	100.0	46,112	100.0
II 売上原価	27,674	84.1	38,240	82.9
売上総利益	5,229	15.9	7,872	17.1
III 販売費及び一般管理費	3,716	11.3	5,589	12.1
営業利益	1,512	4.6	2,282	5.0
IV 営業外収益	115	0.3	448	1.0
V 営業外費用	934	2.8	1,457	3.2
経常利益	693	2.1	1,273	2.8
VI 特別利益	3,801	11.6	480	1.0
VII 特別損失	755	2.3	1,370	3.0
税金等調整前当期純利益	3,740	11.4	383	0.8
法人税、住民税及び事業税	2,451	7.5	66	0.1
法人税等調整額	△ 1,203	△3.7	62	0.1
少数株主損益	16	0.1	27	0.1
当期純利益	2,475	7.5	226	0.5